

3月29日のレッスン

神の王国を待ち望む

鍵となる聖句：「多くの国々から民が集い、こう言うだろう。『さあ、主の山へ、ヤコブの神の家へ登ろう。主は私たちに御自身の道を教え、私たちはその道を進むのだ。主の教えはシオンから発し、その言葉はエルサレムから発するからだ』」

イザヤ書 2:3

聖句抜粋：

イザヤ書 2:2-4

全人類の祝福は聖書の中心的なテーマである。生まれた者すべてが、神の御国の祝福された結果を体験する機会を拒まれることはない。神はまずアブラハムへの約束を通してこれを宣言された：

「わたしは、わたし自身を誓いの証人とする。主は言われる。あなたがこのことを行い、あなたの息子、あなたのひとり子を惜しまなかったから、わたしはあなたを祝福し、あなたの子孫を天の星のように、海の砂のように増やす。...あなたの子孫によって、地上のすべての国民は祝福を受ける。」創世記22:16-18

私たちの鍵となる聖句は、神の約束された王国について預言的に語っており、その律法は「シオンから出る」とされています。旧約聖書において、シオンの山はエルサレムにあり、イスラエルの政府の座として認識されていました。新約聖書は、

これを象徴的な霊的なシオンと対比させています。ここでは、キリストに従う者たちが「」と表現され、「生ける神の都、天のエルサレム」に来ると語られており、これはイザヤのシオンの預言の成就を意味しています。（ヘブル**12:22-24**）使徒ペテロもまた、シオンのイメージを用いて、キリストの足跡をたどる者たちを「生ける石」と表現し、キリストを礎石としてシオンに据えられ、霊的な神殿に組み上げられる者と描いている。こうしてペテロは旧約のシオンと新約の教会とを結びつけるのである。ペテロの手紙一**2:4-6**

イエスは聞く耳を持つすべての人に神の王国を宣べ伝えました（マルコ**1:14**、ルカ**4:43**）。そして彼らにこう招きかけました。「わたしについて来たい者は、自分を捨て、毎日自分の十字架を負い、わたしについて来なさい」。（ルカ**9:23**）。死からの復活からわずか数年で、福音のメッセージはすべての国々に広がり始めた。（使徒**1:8**）。それは特に、シオンの階級の一員となることを望む者たちに明らかにされた。彼らに当てはまる言葉はこうである：「真実な言葉である。もし私たちが彼と共に死んだなら、彼と共に生きるであろう。もし私たちが苦しむなら、彼と共に支配するであろう。」 テモテへの第二の手紙 **2:11,12**

この福音は二千年も宣べ伝えられてきたが、シオンの階級はまだ完成していない。その基準は高く、大多数には魅力的ではない。イエスは「招かれる者は多いが、選ばれる者は少ない」と宣言された（マタイ**22:14**）。したがって、世界は今も神の王国を待ち続けている。しかし、イエスが模範

の祈りの中で語られたように、それは必ず来る。

マタイ**6:10**

ヨハネの黙示録のこの言葉をもって、私たちの学びを締めくくろう。「私は四人の天使が地の四隅に立っているのを見た。彼らは地の四つの風を押さえ、地や海や木々に風を吹かせないようにしていた。すると、東の方角から、いのちのある 神様の印を持つ別の天使が来て、叫んだ。『...われわれの神様のしもべたちの額に印を押すまで、地や海や木々に害を与えてはならない』。私は、印を押された者の数を聞いた。それは十四万四千人であった。」（黙示録**7:1-4**）